

笑ってごらん

第 644 号 2019. 1. 25 発行

～今日の格言～

私はこう祈ります。知る力と見抜く力とを身に付けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられますように。 (聖書)



18日推薦入試が終わった。受験生は緊張の面持ちで作文や筆記試験、面接に取り組んだ。体調不良の受験生もあったが、何とか無事全員が受験を終えることができたことを喜びたい。一般入試は明後日 26 日。

19～20 日、大学入試センター試験が行われ、本校からも普通科の生徒たちが受験した。この自己採点結果をもって受験大学を決定することになる。受験生はこれからのひと月を大切にしたい。

27 日、介護福祉士国家試験が行われる。本校か

らも総合福祉科の生徒たちが受験する。これまで深めてきた学びを存分に発揮して、必ずや合格して欲しい。



～．～．～．～．～．～．～．～．～．

私たちの学生時代(昭和)は、今のように娯楽がたくさんある訳ではなく、毎日の楽しみはもっぱらテレビだった。

アイドル全盛時代でもあり、ほぼ毎日どこかの局で(といっても民放 2 局だったが)音楽番組が放送されていた。それらの放送を観ながら、流行の曲を覚えたものである。

しかし、テレビのチャンネル支配権は当然の如く家長である父親が握っていたため、子どもの自由にならないこともあった。

- 2016年ノーベル医学・生理学賞を受賞された東京工業大学名誉教授大隅良典さんの講演内容をまとめた本を読んだ。そこに、『若者へのメッセージ』が記されていたので紹介する。
1. 長い人類の歴史の中で自分の生きている時代を考えよう。
 2. 自然と親しみ、小さな発見を大切にしよう。
 3. 権威や常識に囚われず、自分の趣味、抱いた疑問を大切にしよう。
 4. 情報にながされず自分の眼で確かめよう。
 5. 最初の疑問に繰り返し立ち返ろう。
 6. 人と違うことを恐れずに、自分の道を見極めよう。
 7. はやりを追うことはやめよう。

「ビデオに録っておけばいいじゃない！」そんな声が聞こえてきそうであるが、当時そんな便利なモノは無かった。好きな番組はオンタイムで観るしかなかったのだ。

そして、自分の好きな時間に好きな音楽を楽しみたいと思ったら、カセットテープに録音してテープが延びてしまうまで聴いていた。時代は移り変わり今やインターネット全盛時代。現在、好きな曲はダウンロードして終わり。繰り返し聴いたところで音の劣化もない。隔世の感がある。

インターネットが普及し始めたのは、実に平成の世に入ってからであった。ということは、ここ 30 年間に技術はめざましい発展を遂げたということになる。

今年、平成を終え新しい時代が始まる。どんな技術革新があるのだろうか。今から楽しみである。

